

HAKUTEN

2020年3月期決算

(2019年4月～2020年3月)

# 決算説明

株式会社 博展

(東証JASDAQグロース：2173)



## <2020年3月期 通期>

### 対前期で増収・増益、受注高・受注残高も増加

- ▶ 売上高 129億21百万円 (前期比 0.4%の増加)
- ▶ 営業利益 6億45百万円 (前期比 23.4%の増加)
- ▶ 受注高 136億73百万円 (前期比 7.1%の増加)
- ▶ 受注残高 35億76百万円 (前期比 26.6%の増加)

## 損益計算書（連結）の概要

### 売上総利益率が3.1ポイント上昇し、対前期で増益

[単位:百万円]

|                     | 2019年<br>3月期 | 2020年<br>3月期 | 増減額    | 増減率<br>(%) | 2020年<br>3月期<br>(予想) | 達成率<br>(%) |
|---------------------|--------------|--------------|--------|------------|----------------------|------------|
|                     | 通期           | 通期           |        |            | 通期                   |            |
| 売上高                 | 12,873       | 12,921       | +47    | +0.4       | 13,500               | 95.7       |
| 売上総利益               | 3,220        | 3,638        | +417   | +13.0      | —                    | —          |
| (売上総利益率)            | (25.0%)      | (28.2%)      | (+3.1) | —          | —                    | —          |
| 営業利益                | 523          | 645          | +122   | +23.4      | 600                  | 107.7      |
| (営業利益率)             | (4.1%)       | (5.0%)       | (+0.9) | —          | —                    | —          |
| 経常利益                | 513          | 649          | +136   | +26.6      | 580                  | 112.0      |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 77           | 409          | +332   | +431.4     | 400                  | 102.5      |

#### 【売上高：前期比0.4%増】

- 商環境で大型プロジェクトの納品とグループIT会社の業績が順調に伸長し、前期と同等水準を確保

#### 【売上総利益：前期比13.0%増】

- 売上総利益率が3.1ポイント上昇  
収益性を重視した施策が功を奏す

#### 【営業利益：前期比23.4%増】

- 人的リソース、IT活用、ブランディング活動等へ積極投資負担を吸収して増益を達成

## 商材別売上高構成

### 商環境を中心に売上が伸長し、前期同等の売上高を確保

[単位:百万円]

|                         | 2019年<br>3月期 |            | 2020年<br>3月期 |            | 増減額  | 増減率<br>(%) |
|-------------------------|--------------|------------|--------------|------------|------|------------|
|                         | 通期           | 構成比<br>(%) | 通期           | 構成比<br>(%) |      |            |
| 展示会出展                   | 3,643        | 28.3       | 3,558        | 27.5       | △85  | △2.4       |
| イベント・ショー                | 3,299        | 25.6       | 2,910        | 22.5       | △388 | △11.8      |
| 商談会・プライベートショー           | 2,875        | 22.3       | 2,863        | 22.2       | △12  | △0.4       |
| カンファレンス・セミナー            | 662          | 5.1        | 690          | 5.3        | 28   | 4.2        |
| 商環境                     | 1,207        | 9.4        | 1,705        | 13.2       | 498  | 41.3       |
| デジタル・コンテンツ<br>& マーケティング | 1,051        | 8.2        | 1,104        | 8.6        | 53   | 5.1        |
| その他                     | 132          | 1.0        | 87           | 0.7        | △45  | △34.0      |
| 合計                      | 12,873       | 100.0      | 12,921       | 100.0      | 47   | 0.4        |

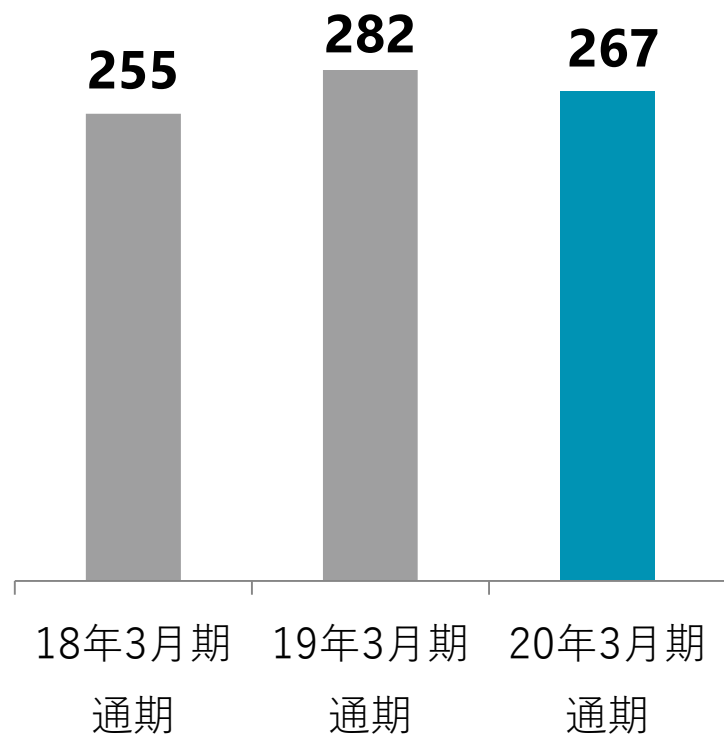
#### 【概要】

- 商環境分野で、大規模公共施設の内装工事や大手企業の大型ショールームを請け負う
- 年間を通じて高採算案件の受注を重視した営業活動を推進
- グループIT会社の業績が順調に伸長
- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2020年2月中旬以降に開催予定であった一部の展示会・イベント等が中止や延期となるものの、当事業年度への影響は軽微

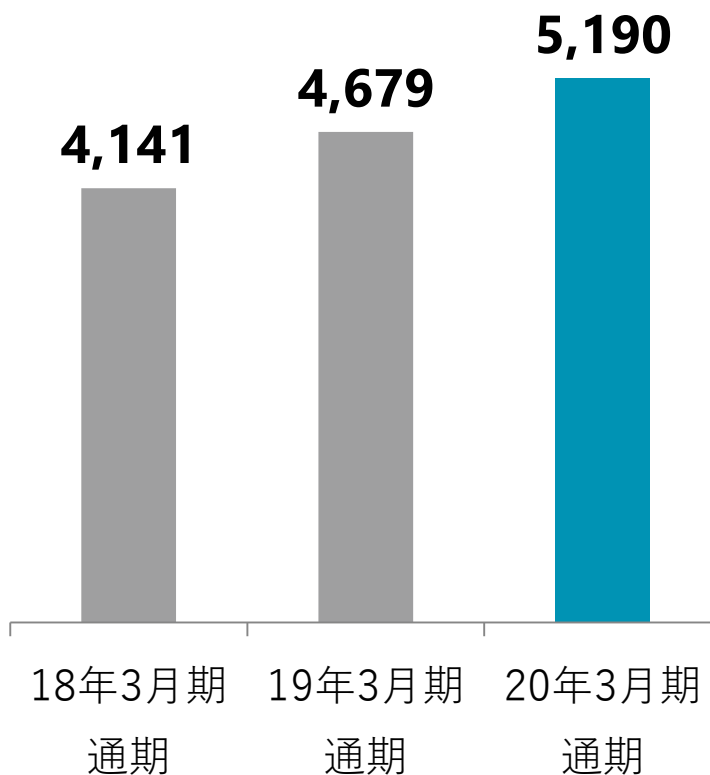
## 各種指標（単体）

採算性を重視した受注活動を推進 **プロジェクト単価が増加**

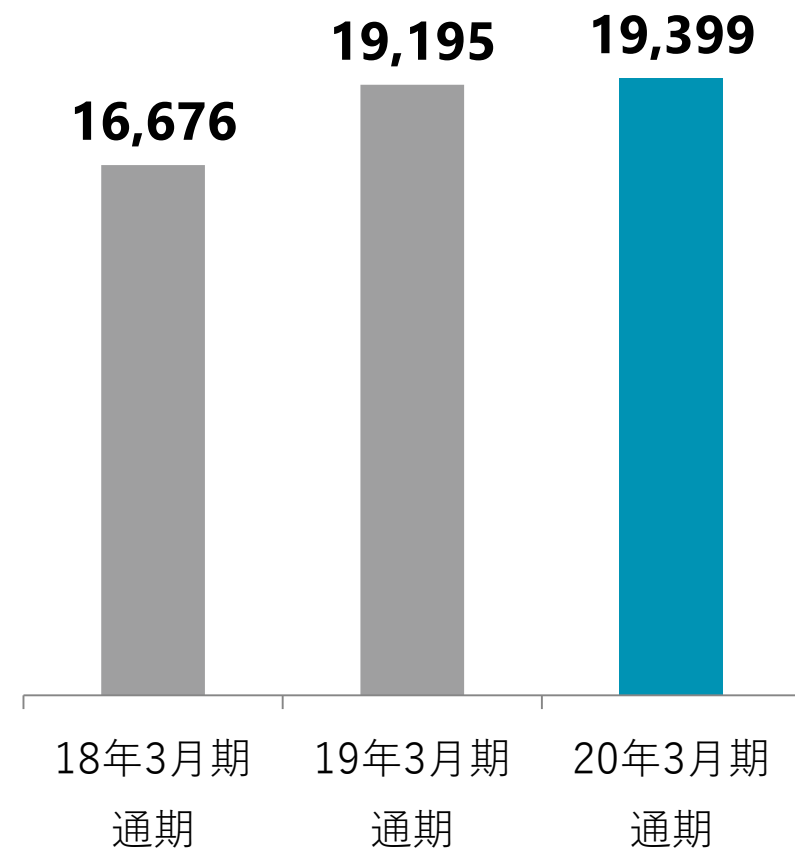
1000万以上の案件数(件)



プロジェクト単価（千円）



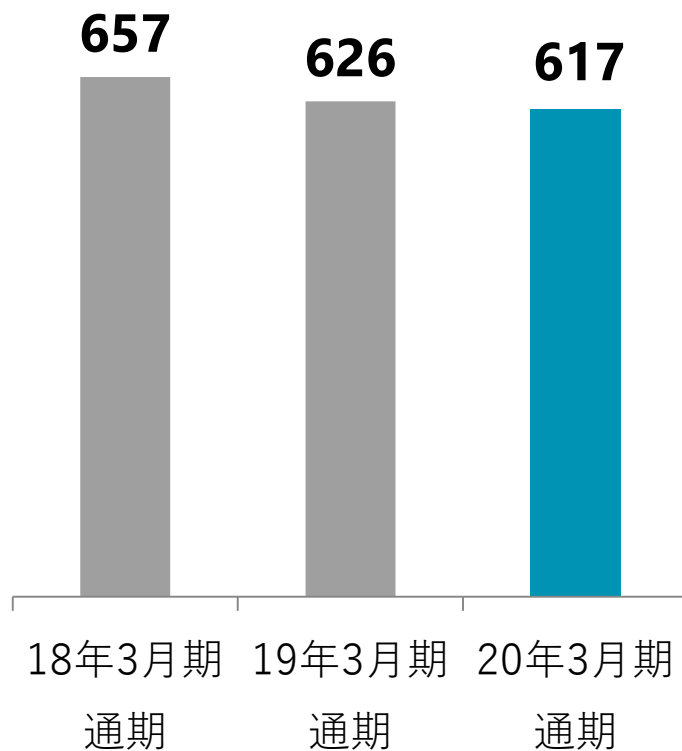
顧客単価（千円）



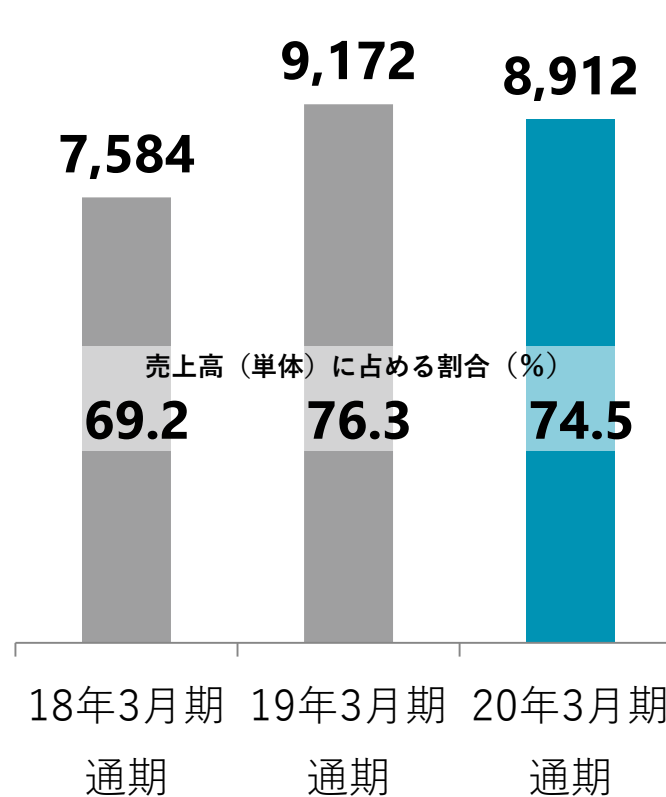
## 各種指標（単体）

リピート顧客・指名受注売上高は若干減少なるも、  
新規顧客による売上が増加し、**安定した売上高を確保**

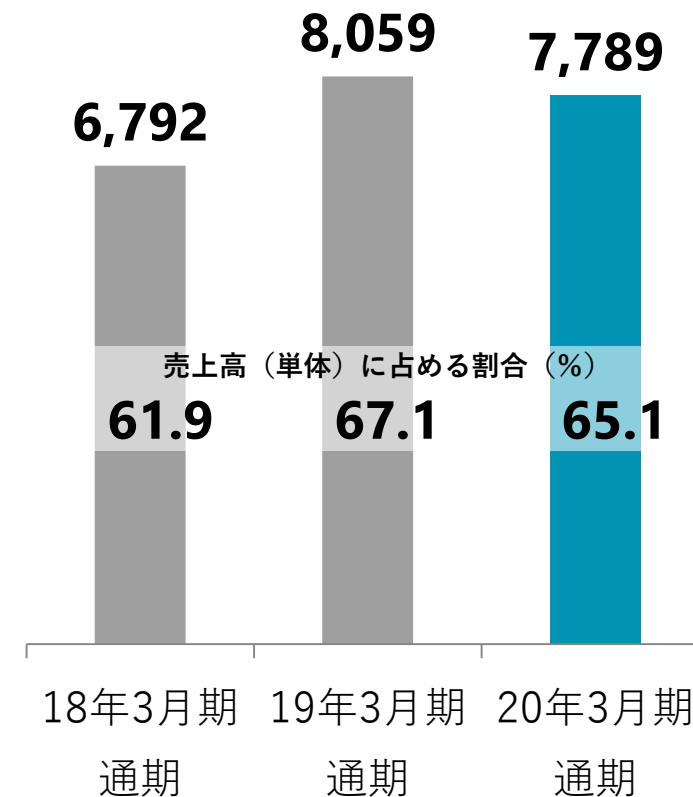
### 取引社数（社）



### リピート顧客売上高（百万円）



### 指名受注売上高（百万円）



## 貸借対照表（連結）の概要

単位：百万円

|               | 2019年<br>3月期末 | 2020年<br>3月期末 | 増減額   |
|---------------|---------------|---------------|-------|
| 資産合計          | 4,067         | <b>4,372</b>  | + 304 |
| 流動資産          | 3,228         | <b>3,516</b>  | + 287 |
| 固定資産          | 839           | <b>856</b>    | + 16  |
| 負債合計          | 3,058         | <b>3,117</b>  | + 59  |
| 流動負債          | 2,660         | <b>3,055</b>  | + 394 |
| 固定負債          | 397           | <b>62</b>     | △334  |
| 純資産合計         | 1,009         | <b>1,254</b>  | + 245 |
| 自己資本比率<br>(%) | 24.7          | <b>28.3</b>   | + 3.7 |

前期末との増減額

### 【資産】

現金及び預金

仕掛品

受取手形及び売掛金

### 【負債】

前受金

借入金合計

買掛金

### 【純資産】

当期純利益

自己株式の取得

配当金の支払

+ 3億4百万円

+ 2億9百万円

+ 1億14百万円

△1億19百万円

+ 59百万円

+ 2億56百万円

+ 1億94百万円

△3億12百万円

+ 2億45百万円

+ 4億9百万円

△96百万円

△87百万円

# キャッシュフロー計算書（連結）の概要

単位：百万円

|                         | 2019年<br>3月期末 | 2020年<br>3月期末 | 増減額    |
|-------------------------|---------------|---------------|--------|
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー    | 892           | <b>405</b>    | △486   |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー    | △190          | △ <b>183</b>  | +6     |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー    | △1,151        | △ <b>12</b>   | +1,139 |
| 現金及び現金同等物の<br>期首残高      | 1,140         | <b>627</b>    | △512   |
| 現金及び現金同等物の<br>増減額（△は減少） | △449          | <b>209</b>    | +659   |
| 現金及び現金同等物の<br>期末残高      | 627           | <b>837</b>    | +209   |

当期末累計

## 【営業CF】

**4億5百万円**

税金等調整前当期純利益

6億16百万円

前受金の増加

2億56百万円

売上債権の回収

1億19百万円

仕入債務の支払

△3億12百万円

法人税等の支払

△2億25百万円

仕掛品の増加

△1億15百万円

## 【投資CF】

△**1億83百万円**

システム部材・大型機材の購入

△72百万円

A I 関連開発・I T 関連への投資

△67百万円

## 【財務CF】

△**12百万円**

短期借入金の増加

7億76百万円

長期借入金の減少

△5億81百万円

自己株式の取得

△96百万円

配当金の支払

△86百万円



## 受注状況について

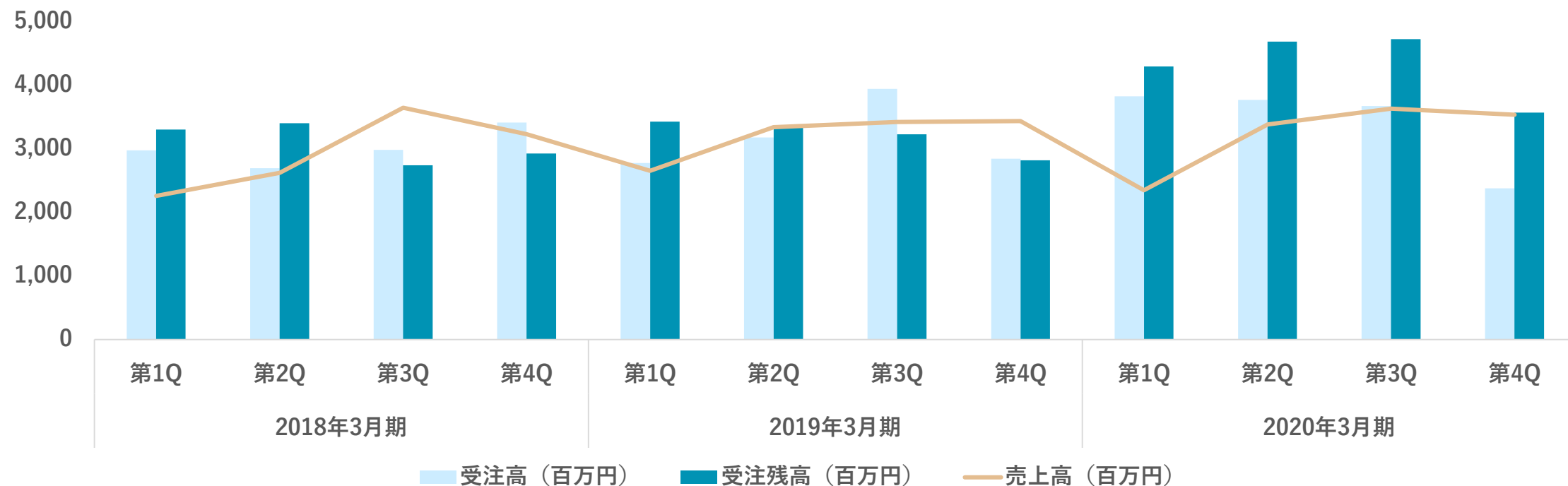
商環境を中心に大型プロジェクトを受注したことで、**受注残高は前期を上回る**

### 2020年3月期 通期

| セグメント名称                      | 受注高<br>(百万円)  | 前年同四半期比<br>(%)      | 受注残高<br>(百万円) | 前年同四半期比<br>(%)      |
|------------------------------|---------------|---------------------|---------------|---------------------|
| リアルエクスペリエンス<br>&コミュニケーション事業  | 12,721        | 106.3               | 3,278         | 129.7               |
| デジタルエクスペリエンス<br>&コミュニケーション事業 | 952           | 120.1               | 297           | 100.2               |
| 合 計                          | <b>13,673</b> | <b><u>107.1</u></b> | <b>3,576</b>  | <b><u>126.6</u></b> |

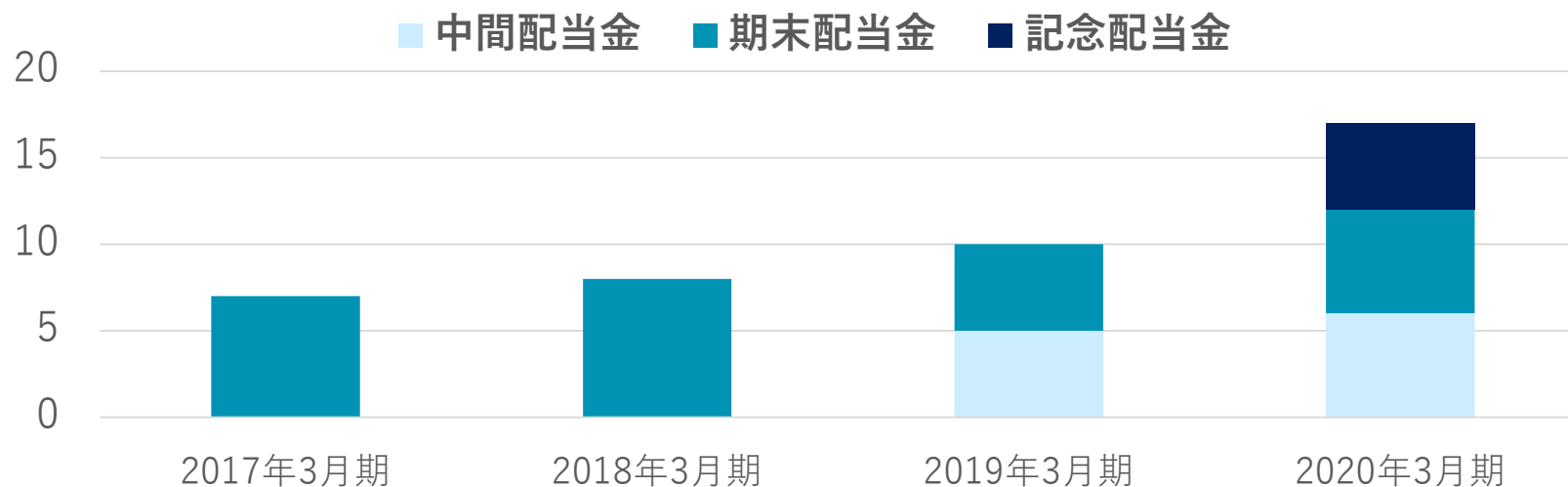
※セグメント間の取引については相殺消去しております。上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 各四半期の売上高・受注高・受注残高の推移



|               | 2018年3月期 |       |       |       | 2019年3月期 |       |       |       | 2020年3月期 |       |       |       |
|---------------|----------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|
|               | 第1Q      | 第2Q   | 第3Q   | 第4Q   | 第1Q      | 第2Q   | 第3Q   | 第4Q   | 第1Q      | 第2Q   | 第3Q   | 第4Q   |
| 売上高<br>(百万円)  | 2,263    | 2,628 | 3,651 | 3,235 | 2,658    | 3,346 | 3,427 | 3,442 | 2,352    | 3,389 | 3,639 | 3,541 |
| 受注高<br>(百万円)  | 2,983    | 2,699 | 2,989 | 3,419 | 2,782    | 3,184 | 3,951 | 2,848 | 3,833    | 3,777 | 3,680 | 2,383 |
| 受注残高<br>(百万円) | 3,310    | 3,410 | 2,748 | 2,932 | 3,434    | 3,372 | 3,235 | 2,824 | 4,304    | 4,693 | 4,734 | 3,576 |

# 当期は会社設立50周年の記念配当を実施 次期配当予想は現時点では未定



|           | 2017年3月期 | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 2020年3月期 |
|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 中間配当金 (円) | 0.00     | 0.00     | 5.00     | 6.00     |
| 期末配当金 (円) | 7.00     | 8.00     | 5.00     | 6.00     |
| 記念配当金 (円) | 0.00     | 0.00     | 0.00     | 5.00     |
| 合計 (円)    | 7.00     | 8.00     | 10.00    | 17.00    |

※ 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2017年3月期、2018年3月期及び2019年3月期についても、当該株式分割が行われたと仮定し算定した配当金を記載しております。

※定款において「当社の中間配当の基準日は、毎年9月30日とする。」旨を定めております。

# 新型コロナウイルス感染症の影響について

## 新型コロナウイルスに対する当社の対応基本方針

1. 従業員等および家族の生命・健康維持を優先する。
2. 社会的影響を慎重に配慮し、行政機関の要請に従い感染者増加を防止する。
3. イベント、展示会等を通し、商業活動の促進、感動や笑顔を創造し、  
社会に貢献する役割を継続的に提供するための努力をする。
4. 経営基盤・事業継続の維持に努める。

当社では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うリスクに対して、危機管理委員会を設置し、標記の対応方針の下、在宅勤務を基本としながら、適宜必要な対応を行っております。

## 新型コロナウイルス感染症拡大による事業環境への影響について

| 事業活動への影響  |  |
|---|--|
| <b>イベント関連</b><br>(展示会出展、イベントプロモーション、商談会・プライベートショー、カンファレンス・セミナー) | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 展示会・イベント等の開催自粛や延期の影響</li><li>・ 東京オリンピック・パラリンピックの開催延期に伴う東京ビッグサイトの一部使用制限の延長による大型展示会開催への影響</li><li>・ 景気悪化による企業の広告宣伝費の抑制継続</li></ul> |
| <b>商環境</b>  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 大手企業のショールームを請け負う等、現時点での影響は軽微<br/>※現場スタッフの検温、マスク着用、手洗いの徹底、換気等の感染症予防対策を講じながら施工を実施。</li></ul>                                       |
| <b>デジタル・コンテンツ &amp; マーケティング</b>                                 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ グループIT会社の業務への影響は軽微</li><li>・ オンラインでのイベントプロモーションサービスを提供</li></ul>   |

新型コロナウイルス感染症の影響の収束が長期化する場合、今後も様々な影響が顕在化することが懸念されますが、グループ全体として連携し、この難局を乗り越えてまいります。

## 2021年3月期の注力課題

### 1. リアルとデジタルのハイブリッド型のコミュニケーションデザインの確立

- 新たな生活様式に適應した統合型のコミュニケーションデザインの提供によるサービス領域の拡大
- オンライン上でのイベントプロモーションサービスの開発や自社ライブ配信スタジオの開設、Experience Marketing Labの設立、感染症予防の観点でのリアルイベント開催の規格の策定・実施運営等

### 2. 業務プロセス改善と戦略的IT活用による新たな働き方の推進

- リモートワークの活用による時間と場所に捉われない新たな働き方の更なる推進
- 業務プロセスの見直しと戦略的IT活用による全社の労働生産性の向上

### 3. コスト管理の徹底と財務基盤の強化

- 販売費及び一般管理費など固定費の見直し、各プロジェクトのコスト管理の徹底
- 金融機関との交渉により当面の資金繰りを担保し、運転資本の改善にも取り組む

## 今後の見通し

### 現時点で合理的に算定することが困難なため、業績予想・中期経営計画は未定

新型コロナウイルス感染症拡大による企業活動の停滞の影響や、企業の事業環境の変化に伴うマーケティング活動の投資への影響が不確定であるため、現時点で合理的に算定することが困難な状況であることから公表を延期。今後、連結業績予想・中期経営計画の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示します。

#### ▼前回発表予想の達成状況（連結）等

|             | 2020年3月期              |              | 2021年3月期<br>(予想) | 2022年3月期<br>(目標) | 2023年3月期<br>(目標) |
|-------------|-----------------------|--------------|------------------|------------------|------------------|
|             | 前回発表予想<br>(2020年2月7日) | 実績           |                  |                  |                  |
| 売上高         | 13,500                | 12,921       | 未定               | 未定               | 未定               |
| 営業利益<br>(%) | 600<br>(4.4)          | 645<br>(5.0) | 未定               | 未定               | 未定               |



# Communication Design®

人と人の、笑顔が創り出す未来へ。

H A K U T E N

## 将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載された株式会社博展の計画・見通し・方針・戦略・意見などのうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた内容に基いて作成しております。実際の業績に影響を与え得る要素には、事業領域を取り巻く経済情勢、市況、為替の動向など、潜在的风险や不確実性があるものを含んでおります。そのため、実際の業績はこれらの重要な要素の変動により、見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

本資料に掲載されたコンテンツの正確性については、万全を期しておりますが、その内容に関してはいかなる保証もするものではなく、万一、これにより貴方に損害が生じても一切責任を負いかねます。また、本資料の著作権は、株式会社博展に帰属しており、無断転載・複製することをご遠慮ください。